

感染に対する宿主因子のはたらきの仕組みとは？

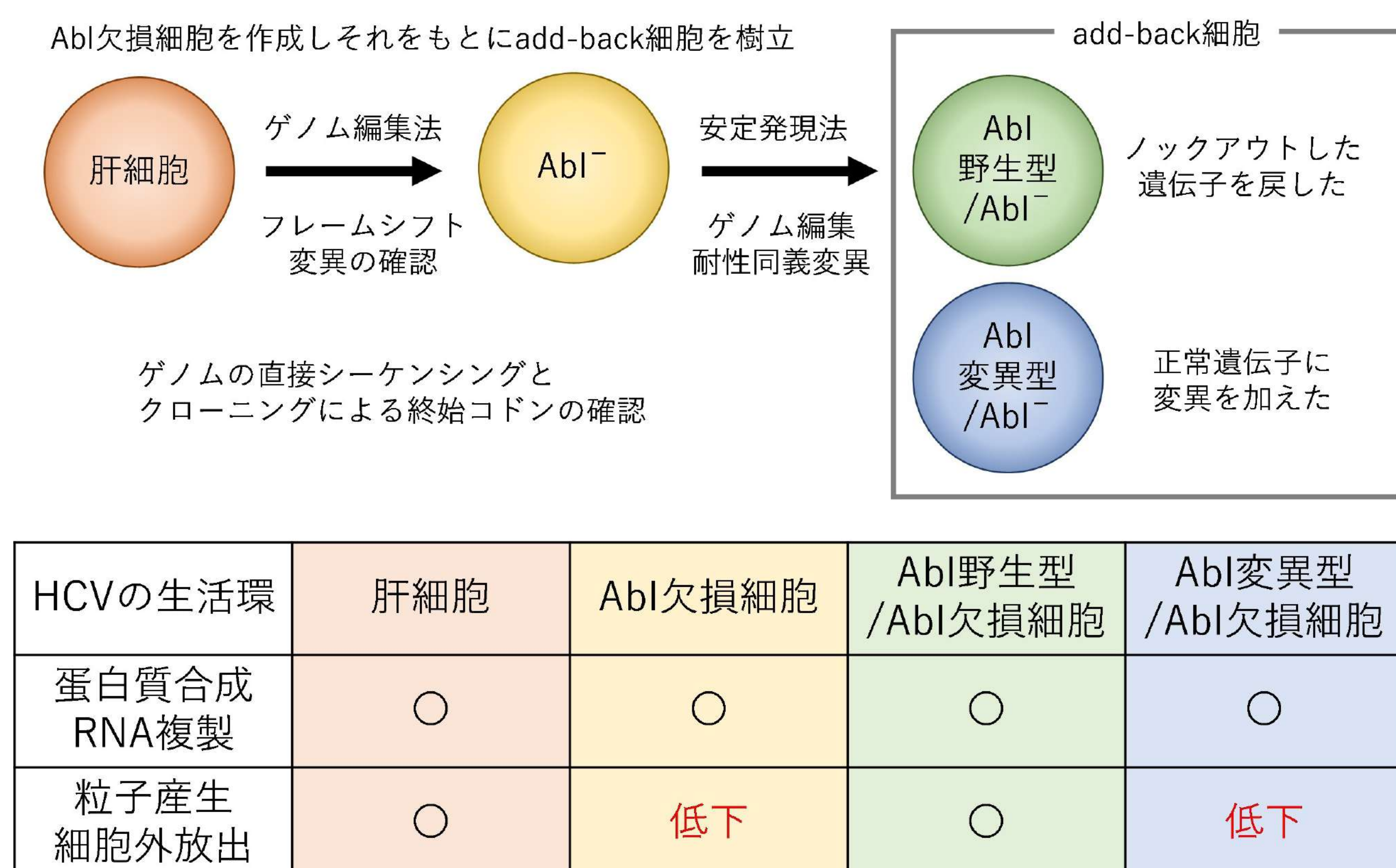
医学系部門 ゲノム科学・微生物学分野の紹介

○当研究室は病原微生物の感染に対する生体応答メカニズムの解明にむけた研究を行っています。特に病原体と相互作用する宿主因子の役割と調節機構について、ゲノム科学を駆使した様々な手法により研究を推進し、大学院博士課程の教育にも注力しています。また福井大学における感染症医療人材養成事業：UF-IDEEPにて、医学部生を対象とした「特色あるカリキュラム：感染症」を推進し、高度な学部教育を実践しており、高大連携による社会貢献・地域連携や、医学教育の国際交流も推進しています。少人数の基礎医学研究室ですが、クリエイティブな雰囲気のもとで研究教育活動を展開し、地域で活躍する優秀な医療人の育成に貢献しています。

○研究室スタッフ：定 清直、千原一泰、竹内健司、千原悠里、山本里美

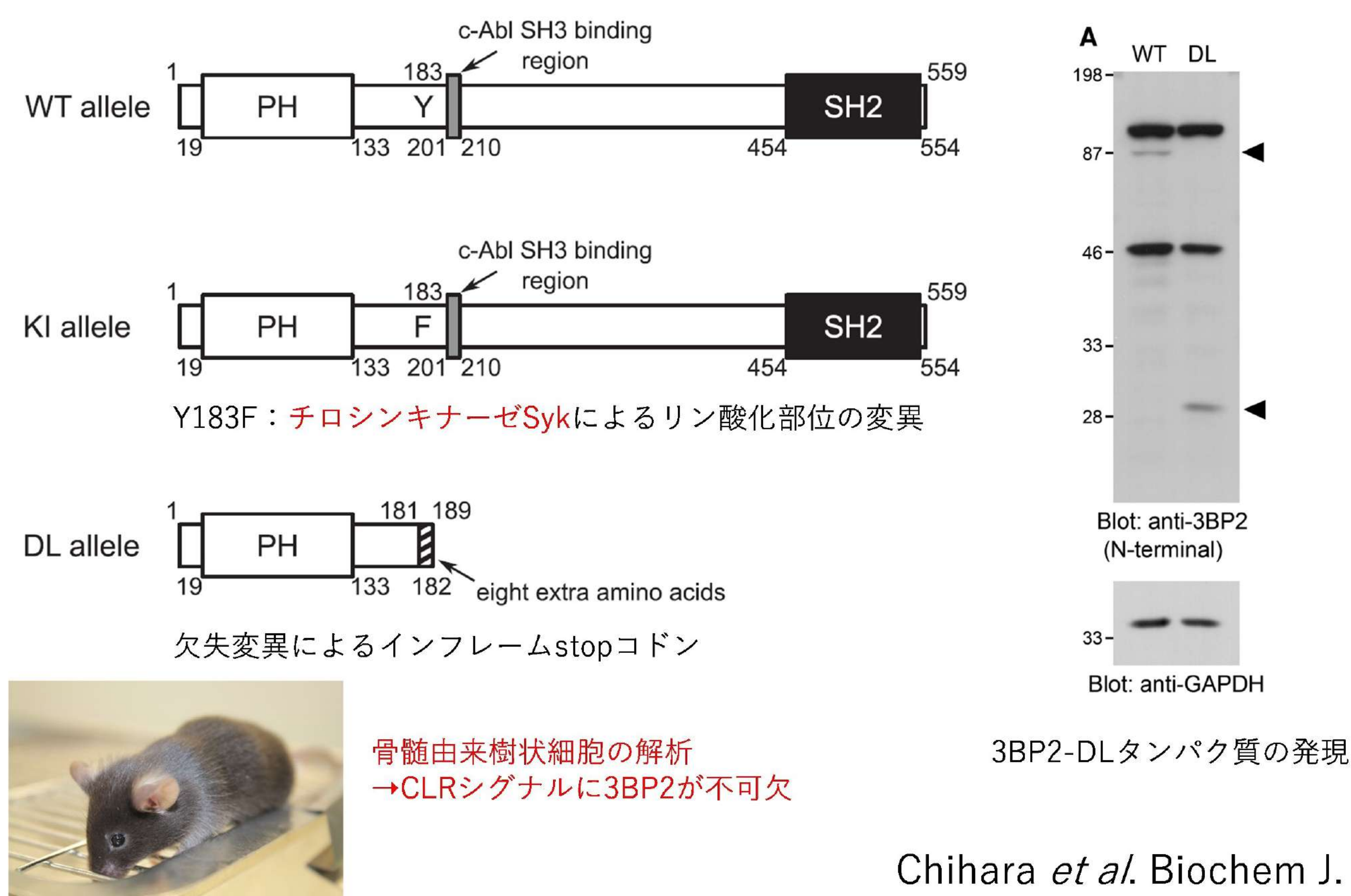
①ウイルス-宿主相互作用：C型肝炎ウイルスの増殖に影響する宿主因子の研究 【キーワード】 ゲノム編集、ウイルス感染、感染宿主因子

c-Ablの阻害はHCVの粒子形成を抑制

Miyamoto *et al.* J Biol Chem 2022

②病原菌・宿主相互作用：病原菌に対する免疫応答に関わる宿主因子の研究 【キーワード】 ゲノム編集、自然免疫応答、シグナル伝達、遺伝子改変マウス

3BP2遺伝子改変マウスの解析

Chihara *et al.* Biochem J. 2022

④社会貢献・地域連携 【キーワード】 高校生の医学教育と研究体験

ひらめき☆ときめきサイエンス

めざせ！未来の感染症医学研究者
未知のウイルス病原体と免疫応答・治療戦略を考える



医学部で学ぶ微生物学・感染症学について紹介し、医学研究の面白さや、その成果が臨床医学、感染症の診療にどのようにつながっているのかを体験した。

福井新聞, FBC(おじゃまっテレ)にて報道 2022

医学生・看護学生の研究室訪問（授業科目の質問・留学相談・研究室見学）はいつでも歓迎します。

ゲノム編集×マイクロアレイによる解析

